

西河技術経営塾研究科前期 講義録 TA04

作成：瀧川 淳

日時：平成 29 年（2017 年） 8 月 1 日（金） 午前 10 時 30 分 ～ 午前 11 時 45 分

場所：アーネスト育成財団内会議室（渋谷区代々木 1-57-2 ドルミ代々木 704 号）

講師：小平和一郎

研究生：瀧川 淳

講義名：(TA04)¹「第 7 章アジェンダ内容の推敲、特に『明治座 SAKURA』のケーススタディの掘り下げ」

講義内容

1. 概要

第 4 回目 (TA04) の講義 (研修) を行った。内容は以下の通り。

- ・ 第 7 章「エンジニアリング・ブランドと技術経営を学ぶ」について担当部分のアジェンダ再検討案を提出・発表、特に『明治座 SAKURA』のケーススタディの掘り下げ
- ・ エンジニアリング・ブランドの構築過程について、類型化を目指す (研究課題のメド)

2. 小平からの要望とフィードバック

(1) 要望

具体的なプロジェクトのケーススタディについてよく書かれているが、事象をより客観的に捉える姿勢を意識し、講義を担当する際には学習者が自分の事業に応用できるような説明を心がけてほしい。

(2) フィードバック

おおよそ担当講義のアジェンダに目処がついたので、9 月からの研究課題の絞り込みに入るとよい。これまで瀧川は開発工学に 3 本の研究ノートを投稿しているが、現段階では瀧川自身の活動報告プラスアルファ的な内容で、その延長線上にエンジニアリング・ブランドの構築過程についての研究をされるとよいのではないかと。先行研究 (児玉『需要表現』、小平『エンジニアリング・ブランド』) でなされている類型化を掘り下げ、瀧川の成功体験からオリジナリティを加えるなど、研究課題に適しているのではないかと。また、エンジニアリング・ブランドの構築過程にはエンジニアのセンスウェアも大きく関わってくる、その点も研究課題に適しているのではないかと。このあたり、瀧川自身の問題意識などと照らし合わせて検討してほしい。

3. 次回までの宿題

(1) 第 7 章についてアジェンダの完成

(2) 第 17 章についてアジェンダの完成

(3) 2017 年 9 月からの研究課題について検討

4. 次回日程

(1) 次回日程 8 月 21 日の週で調整

(2) 参考資料

『戦略的ブランド・マネジメント 第 3 版』(2010 年)『戦略的ブランド・マネジメント』(2004 年)、ケビン・レーン ケラー著 東急エージェンシー

以上

¹ (注) TA01 : TA とは、Takigawa のこと。01 は、1 回目。第 2 回は、TA02 となる。